

平成 30 年度事業報告

本会では、地域共生社会の実現に向けて、これまでの対象者ごとの縦割り支援から、すべての人々が年齢や状況を問わず、困りごとに応じた適切な支援を受け、住み慣れた地域で、いきいきと、元気に、活躍できるような「地域づくり」を推進し、地域社会に豊かさを生み出す「我が事」・「丸ごと」の地域づくりを育む仕組みへの施策を進めています。

それらの状況を踏まえ、平成 30 年度も第 3 期羽曳野市地域福祉活動計画は市の第 3 期羽曳野市地域福祉計画と連携しながら、「一人ひとりの想いをつなぎ 結びあう地域づくり」を基本理念に、だれもが住み慣れた地域で安心して健康で暮らせる社会の実現をめざして、区長や民生・児童委員をはじめとする地域の皆さまと共に取り組みました。

計画施行から 3 年となり、福祉を取り巻く環境、社会情勢や進捗状況を踏まえ中間年度の見直しを行うため住民懇談会やアンケート調査を行い、いただいた多くの意見を今後の地域福祉推進に活かしていきます。また、行政や府社会福祉協議会、専門機関などとも連絡協議しながら、各種の地域福祉・在宅福祉活動などの推進に努めました。

地域福祉活動では、各校区の校区福祉委員会が主体となって実施していただいている活動に参画・支援を行い、地域住民による支えあい助けあいを促進するとともに、地域課題の解決に向けて努力しました。

個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談をはじめ、保育園で行っているスマイルサポーターによる相談を行い個別の課題解決に向けて努力しました。また、コミュニティソーシャルワーカーが中心となり、医療・福祉専門職・学校など分野を越えた専門職のネットワーク構築に取り組みました。平成 30 年度から羽曳野市より受託した「生活困窮者自立相談支援事業」では、常に生活困窮者に寄り添い適切な支援を行いました。

在宅福祉活動では、訪問介護事業、居宅介護事業など利用者に寄り添った介護事業を行いました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金、献血推進事業、災害時義援金活動に取り組み、多くの皆さまからご支援をいただく事が出来ました。

「あおぞら保育園」と平成 30 年度より定員を 90 名から 120 名に増員した「ベビーハウス社協」の 2 カ所の認可保育園では、安心安全な保育園として園児の健やかな成長を願い、保護者に寄り添った保育サービスに努めました。そして、地域の子育て支援の拠点として、育児相談や園庭開放などを実施し、保護者や地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園運営を行い、財政運営にあたっては経費削減に努め健全化を図りました。

当会が実施する自主事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの住民からあたたかいご協力をいただき、平成 30 年度は昨年引き続き安定的な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、在宅福祉活動や保育園事業などの自主事業においても、健全な運営を行う事が出来ました。

事業ごとの取り組み内容は以下のとおりです。

平成 30 年度 事業 報告

■ 役員会議

・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成30年5月24日	保健センター	1. 平成29年度事業報告について 2. 平成29年度収支決算について 3. 定款の一部変更について 4. 副会長の選出について	12人
平成31年3月4日	羽曳野市役所 別館3階会議室	1. 定款の一部改正(案)について 2. 平成30年度第1次補正予算(案)について 3. 平成31年度事業計画及び予算(案)について 4. 役員報酬規程(案)の提出について	16人

・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成30年6月11日	保健センター	1. 平成29年度事業報告について 2. 平成29年度収支決算について 3. 定款の一部変更について 4. 理事の選任(案)について	20人
平成31年3月15日	保健センター	1. 定款の一部改正(案)について 2. 平成30年度第1次補正予算(案)について 3. 平成31年度事業計画及び予算(案)について 4. 役員報酬規程(案)について	16人

・監事監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
平成30年5月14日 5月15日 7月12日 8月13日	別館3階特別会議室 社協事務局	平成29年度監査	2人

・羽曳野市指導監査

開催年月日	開催場所	審議事項
平成30年8月21日	ベビーハウス社協	1. 法人運営について 2. ベビーハウス社協運営について

■ 組織強化

自主財源確保の福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金 (平成31年3月31日現在)

平成30年度 1,934,309円 積立金額 128,124,192円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

4,900,460円

・組織構成会員会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

233,000円

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名 称	発行回数	発 行 月 等	備 考
社協だより	年4回発行	5月・8月・10月・1月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年4回発行	3・6・9・12月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年12回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	———	毎月更新 http://www.hasyakyo.net/	
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・在宅部会 ・施設部会 ・地域密着部会

■ 地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
平成30年5月23日	校区福祉委員会連絡会	市役所別館3階会議室
平成30年12月18日	子育てサロン交流会	市役所別館3階会議室
平成31年2月13日	小地域ネットワーク活動リーダー研修会	国際交流センター

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋げました。

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

平成25年12月に結成した福祉施設連絡会において、総会および研修会を開催し今後の取組みについて話し合うとともに、それぞれ社会福祉法人間での情報交換・交流を深めました。

今年度は、大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業金を受け市内社会福祉法人を紹介するパンフレットを作成し配布した。

総会及び研修会	平成30年7月4日/羽曳野市役所A棟会議室 研修会 「地域貢献の取組みや羽曳野市内での事例等」
役員会	平成30年5月30日・8月23日・11月15日 平成31年2月12日・3月8日
担当者会議	平成30年8月30日
パンフレット作成委員会議	平成30年9月28日・10月25日・11月6日・11月29日 平成31年3月7日
大阪府福祉施設連絡会情報交換会	平成30年9月7日 役員参加 大阪府社会福祉協議会
共催事業	平成30年5月5月 市民フェスティバル出店（法人紹介のDVD等の放映） 平成30年8月23日 福祉の就職相談会・施設相談会

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ地域福祉の増進に寄与しました。

校区名	各事業の実施箇所数					(単位：箇所)	
	いきいきサロン (喫茶サロン含む)	ふれあい食事 サービス	地域リハビリ 事業 (百歳体操含む)	世代間 交流	子育て支援 こどもの居場所 (サロン)活動 ※1	小地域 ネットワーク ※2	雅び ※3
1 古 市	2	3	6	1	1	H11	H15
2 高 鷲 北	2	2	4	2	1	H11	H14
3 埴 生	7	10	6	1	2	H13	H16
4 埴 生 南	13	11	7	1	1	H12	H16
5 羽 曳 が 丘	1	1	3	1	1	H10	H14
6 丹 比	4	0	1	1	1	H11	H16
7 駒 ケ 谷	0	6	0	1	1	H14	H17
8 古 市 南	10	3	2	2	2	H14	H15
9 西 浦	7	5	3	1	1	H13	H18
10 西 浦 東	1	7	3	1	1	H12	H24
11 恵我之荘	2	5	1	4	2	H12	H14
12 白 鳥	4	7	3	2	1	H12	H15
13 高 鷲	1	9	3	0	1	H10	H14
14 高 鷲 南	6	6	2	2	1	H10	H14
合 計	60	75	44	20	17		

※1 古市校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2 小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※3 ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティーネットの確立を目指す活動（設置年度）

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図りました。

日付	学校名・学年	派遣ボランティア	内容
平成30年 9月21日	白鳥小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成30年10月 5日	恵我之荘小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成30年11月 5日	古市小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成30年11月19日	高鷲北小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成30年11月28日	埴生小学校・3年生	当事者とガイドヘルパー	視覚障がい者の日常生活の話を聴く
平成30年12月 3日	西浦小学校・4年生	点訳サークルひまわり	点字の説明と名刺作り(点字体験)
平成31年 2月15日	西浦東小学校・3年生	筆記通訳グループはびきの	聴覚障がい者の日常生活の話を聴く 手話と要約筆記

・コミュニティソーシャルワーカー事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動にいかされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

◎CSW介入の必要性

- ・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。
- ・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
- ・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。

◎CSW介入の成果

- ・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

◎最近多くなっている相談

- ・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまう事例(50代ひきこもりの子・80代高齢親子)
- ・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例 など

① 地域支援活動

	東 部	西 部	合 計
<u>第3期羽曳野市地域福祉計画の推進</u> 第3期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、 羽曳野市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自 立支援推進会議、要保護児童対策協議会、市CSW連絡会、中河内・南河 内CSWブロック会議、エリア・ブランチ会議、大阪しあわせネットワー ク羽曳野市CSW・スマイルサポーター連絡会等	80回	62回	142回
<u>住民懇談会の開催</u> 子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議	64回	48回	112回
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援	12回	10回	22回
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	7回	4回	11回
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	10回	8回	18回
<u>地域拠点へのアウトリーチ（出張相談）</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」 コミュニティひろば、西浦ほっとサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり ふるなん高齢者パソコン教室、ふるなん喫茶「絆」、喫茶サロン「いしか わ」、等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付	99回	124回	223回

② 個別支援活動

(単位：件)

相談内容別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	41	60	101
生活に関する身近な相談	50	74	124
健康・医療に関する相談	49	44	93
生活費に関する相談	23	24	47
就労に関する相談	5	8	13
多重債務に関する相談	2	2	4
財産管理・権利擁護に関する相談	2	10	12
子育て世帯に関する相談	2	6	8
DV・虐待に関する相談	5	7	12
災害時要援護者に関する相談	49	11	60
その他	10	21	31
合 計	238	267	505

(単位：件)

相談対象者別	東 部	西 部	合 計
	件数	件数	件数
高齢者	117	68	185
(うち)一人暮らし高齢者	81	46	127
(うち)高齢者のみの世帯	36	22	58
(うち)その他の高齢者	0	0	0
障がい者 ※1	13	7	20
(うち)身体障がい者	4	2	6
(うち)知的障がい者	1	1	2
(うち)精神障がい者	8	4	12
子育て中の親子	1	3	4
一人親家庭の親子	2	1	3
青少年	0	0	0
生活困窮者	14	2	16
社会的孤立(ひきこもり)	4	1	5
その他(一般)	57	12	69
合 計	208	94	302

※1 障がい者においては、重複障害の方を「1」と数えています

・生活困窮者自立支援事業

だれもが生活困窮に陥るかもしれない恐れがある社会の中、生活困窮のさまざまな原因に対し、専門の支援員が相談に応じ支援計画を策定し、その方にあった自立に向けて支援を行います。

		件数
新規相談受付件数(本人同意なしを含む)		196
新規相談申込件数(本人同意ありのみ)		104
支援決定・作成プラン件数(再プランを含む)		68
生活困窮の原因	病気	10
	けが	0
	障害(手帳有)	6
	障害(疑い)	2
	自死企図	0
	その他メンタルヘルスの課題	10
	住まい不安定	5
	ホームレス	2
	経済的困窮	33
	(多重・過重)債務	16
	家計管理の課題	4
	就職活動困難	14
	就職定着困難	5
	生活習慣の乱れ	1

社会的孤立（二一ト・引きこもりを含む）	2
家族関係・家族の問題	10
介護	4
子育て	0
不登校	0
非行	0
中卒・高校中退	0
ひとり親	1
DV・虐待	0
外国籍	0
刑余者	1
コミュニケーションが苦手	0
本人の能力の課題（識字・言語・理解等）	2
被災	0
その他	6
不明	10

・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会・大阪後見支援センターからの委託事業で、対象者は認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な方である。平成30年度は、増加している利用者へのサービスの質の向上を大きな目標としてきました。

相談者	一般相談 件数	サービス提供の ための訪問回数	新規契約 件数	解約件数	年度末 実利用者数
認知症高齢者	27件	199回	4件	5件	10人
知的障がい者	27件	596回	1件	2件	16人
精神障がい者	62件	766回	8件	4件	20人
その他	0件	0回	0件	0件	0人
合計	116件	1561回	13件	11件	46人

専門員・支援員参加の研修会等

大阪後見支援センター主催の各種会議・研修会に参加

・心配ごと相談事業

地域内の心配ごとや悩みごとに対処するため、民生委員の協力により心配ごと相談事業を、東部地区・西部地区で毎月1回づつ実施し、地域福祉の向上に寄与しました。

(取扱件数) ・相談員 72人

・相談件数 3件 (内 東部地区相談件数 2件・内西部地区相談件数 1件)

(単位:件)

相談事項	東 部	西 部	相談事項	東 部	西 部
生 計	0	0	財 産	0	0
年 金	0	0	事 故	0	0
職業・生業	0	0	児童福祉・母子保健	0	0
住 宅	1	0	教育・青少年	0	0
家 族	0	0	障がい者(児)福祉	0	0
結 婚	0	0	母子福祉・父子福祉	0	0
離 婚	0	0	老人福祉	0	0
健康・保健・衛生	0	0	苦 情	1	1
医 療	0	0	そ の 他	0	0
人権・法律	0	0	合 計	0	0

※一度に複数の相談事項がある場合があるため、相談事項件数の合計と相談件数は一致しません。

・老人会食会事業

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年3回給食ボランティアの会食サービス「あじわい」と民生委員の協力により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しました。

【参加人数】

(単位:人)

校 区	第1期	第2期	第3期	計
古 市	58	53	63	174
古市南	64	71	68	203
白 鳥	27	19	24	70
高 鷲	24	28	31	83
高鷲北	27	33	32	92
高鷲南	31	34	32	97
恵我之荘	33	34	35	102
埴 生	61	57	58	176
埴生南	66	54	60	180
羽曳が丘	78	72	77	227
西 浦 東	37	37	36	110
丹 比	34	37	41	112
駒ヶ谷	52	51	54	157
西 浦	35	35	37	107
合 計	627	615	648	1,890

計42回開催 延べ参加人数1,890人

※駒ヶ谷校区、西浦校区は配食

・生活福祉資金貸付事業

低所得階層の生活の向上ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区 分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	38件	81件	25件	2,314千円
教育支援資金	33件	78件	29件	23,658千円
総合支援資金	0件	3件	0件	0千円
不動産担保型生活資金	7件	23件	0件	0千円
緊急小口資金	10件	39件	4件	330千円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0円
合 計	88件	224件	58件	26,302千円

・災害時要援護者支援ネットワーク構築事業

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、町会や校区福祉委員会など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようというものです。また、この制度に登録された方は、そのまま「あんしんシステム」に登録されることになります。

従来の「あんしんシステム」の枠をひろげ、地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がりました。

災害時要援護者

- ①身体障がい者手帳（1級、2級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方
- ⑤要介護度3以上の方
- ⑥65歳以上のお一人暮らし、75才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（平成31年3月末現在）

古 市	高鷲北	埴 生	埴生南	羽曳が丘	丹 比	駒ヶ谷	古市南
413人	201人	415人	428人	329人	418人	105人	392人

西 浦	西浦東	恵我之荘	白 鳥	高 鷲	高鷲南	合 計
188人	126人	224人	140人	345人	411人	4,135人

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が行われました。

校区ごとの参加人数

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
387人	491人	352人	310人	333人	377人	337人	122人

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんぴ	こまがたに	合計
277人	268人	406人	264人	189人	109人	4,222人

■ 高年生きがいサロン指定管理事業

介護予防を目的とした心身の健康増進や生きがいづくり活動の場を提供し、地域のボランティアの協力も得て、60才以上の高齢者の方が生き生きと健康にすごせるように管理運営しています。

利用人数

(単位：人(延))

区分	介護 予防	筋力ト レーニ ング	100歳 体操	自主 事業	団体 利用	カラ オケ	囲碁 将棋	バン パー	卓球	筋トレ マシン	合計
2号館	1,654	0	1,910	1,010	1,698	0	195	57	0	0	6,524
3号館	1,033	0	3,047	1,547	2,007	0	0	0	0	0	7,634
5号館	633	974	1,054	1,527	817	1,708	13	918	884	0	8,528
6号館	987	2,374	0	1,243	2,839	2,647	1,931	0	625	3,919	16,565
合計	4,302	3,348	6,011	5,327	7,361	4,355	2,139	975	1,499	3,834	39,151

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 287日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動できるようボランティア保険への加入促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	移送保険	合計
団体数	168件	470件	4件	1件	643件
人数	1,728人	24,526人	14人	8人	26,276人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
61件	39件	33件	9件	30件	172件

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しました。

講座名	日程・場所	内 容
ボランティア体験プログラム	平成30年 7月1日～ 9月30日	大阪府社会福祉協議会の主催で毎年開催されているプログラムで、子どもから社会人、高齢者などボランティア活動参加の機会とボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする場の提供を目的として校区福祉委員会や施設などに受入れを依頼し、共催した。
傾聴ボランティア養成講座	平成30年 6月25日 ・29日	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止めるボランティアを養成するために開催した。初心者必須の講座。
朗読ボランティア 河南ブロック代表者会議	平成30年 11月7日	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、今年度は八尾市へ出向いて「グループ会員数」「活動内容」「リスナー数」「会員のスキルアップの工夫」について情報交換をおこなった。
小学生ボランティアスクール	平成30年 7月30日	小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育てるボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催した。
市民活動わくわく講座11月 折り紙ボランティア養成講座	平成30年 11月9日・ 16日・20日	手先が器用で、人と関わることが好きな市民の方はおそらく多数いると思われるため、自分の特技を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動の啓発を目的とする。また、今回の募集は男性でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい開催した。
市民活動わくわく講座1月 傾聴ボランティア養成講座	平成31年 1月16日・ 17日・18日	傾聴の知識は他のボランティア活動をおこなう場合でも必要なスキルであるため、ボランティア活動入門の場として開催した。市内でボランティア活動に興味がある方にとって気軽に始めやすい分野であることから、ボランティア入門として広い視野をもってニーズキャッチをはかった。

・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民又、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

ボランティア連絡会総会	平成30年5月17日/羽曳野市役所別館2階研修室
定例幹事会	毎月第2水曜日
その他主な活動 大阪府社協ボランティア連絡会総会 エコイベント 市民体育祭 小学生ボランティアスクール 市民マラソン大会 河南ブロック交流会 市民活動フェスタ2019 障がい者団体行事・高齢者施設行事 保健センター各種教室 福祉教育	平成30年5月7日/大阪社会福祉指導センター5階ホール 平成30年7月21日・22日/LICはびきの 平成30年6月10日/羽曳野市立中央スポーツ公園 平成30年7月30日/市役所別館2階研修室 平成30年12月9日/石川スポーツ公園 平成30年2月14日/ゆめニティまつばら 平成31年3月17日/羽曳野市民会館 随時 随時 随時

・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座を開催し、災害ボランティアへの参画を促しました。また、災害ボランティアセンターが立ち上がった際に使用する備品を整備しました。

第2回 災害ボランティア養成講座	平成30年 5月19日	『避難所運営ゲームHUG体験』を通して、災害に向き合い、考える力を養成する。(参加者 23名)
第3回 災害ボランティア養成講座	平成30年 7月14日	「羽曳野市で考えられる地震や風水害の備えについて」「災害ボランティアセンターにおける大阪府社会福祉協議会と市町村社会福祉協議会の役割について」それぞれに講師を招き、羽曳野市で考えられる災害や災害ボランティアセンターの役割について学ぶ。(参加者 38名)
第4回 災害ボランティア養成講座	平成30年 10月20日	市の防災企画課が毎年開催している防災講演会。今年度は誉田中学校区を中心に啓発し、古市小学校で開催された。講師に市民防災ラボ代表の玉木貴氏を招かれて、「防災対策はじめての一步は地域と家庭で十人十色」というタイトルで、誉田中学校区近辺の活断層を提示して具体的な内容に踏み込んだ講義を受けた。(参加者 16名)
第5回 災害ボランティア養成講座	平成30年 11月10日	日本赤十字社大阪支部の方を講師にお招きし、「赤十字防災啓発プログラム」講習のひとつであるDIG(参加者が地図を使って防災対策を検討するゲーム)を通して地域で起こりうる災害を具体的に考えた。(参加者 17名)
第6回 災害ボランティア養成講座	平成31年 3月9日	羽曳野市に災害が発生し、災害ボランティアセンターが開設された時を想定し、災害ボランティアセンターを運営する訓練。運営役・ボランティア役・被災者役に分かれてシミュレーションを行う。(参加者 15名)

■ 実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪府立大学	6人	平成30年5月7日～5月10日	2日間
大阪府立大学	6人	平成30年5月14日～5月17日	2日間

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1人	平成30年 6月4日～ 7月6日	180時間 23日以上
四天王寺大学	2人	平成30年11月12日～11月26日	10日間

■ きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成27年7月1日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動に際して講習会を開催

きらきらシニアプロジェクトはじめて講座	平成30年 6月28日・12月 7日
きらきらシニアスキルアップ講習会	平成30年11月 1日

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数 273人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護保険支援サポーター活動を対象としている。

サポーター受入施設 65施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録しています。

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保健施設との連絡調整等を行いました。

・新規相談件数・・・88件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	27人	43人	21人	16人	11人	118人
内30年度新規	24人	15人	6人	5人	6人	56人

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
利用者数	21人	29人	2人	52人
内30年度新規	5人	13人	2人	20人

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 68件 (生活保護法介護扶助) 16件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

介護度別利用状況 (年度末現在利用者数) 東部

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい者世帯	計
利用者数	31人	6人	9人	8人	3人	6人	19人	82人
内30年度新規	8人	4人	4人	4人	2人	1人	1人	24人

内容別年間派遣時間数 東部

(単位:時間)

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	障がい	総合計
生活援助	1,131:15	802:06	823:31	496:50	75:15	139:00	2,336:42	1,276:36	7081:15
身体介護		194:03	165:13	441:25	185:45	1,772:56	2,759:22	2,542:09	8060:53
身体生活		66:00	376:07	501:10	192:50	217:25	1,353:32		2707:04
通院・身体								3:25	3:25
通院介助								2:45	2:45
重度介護								61:38	61:38
合計	1,131:15	1,062:09	1,364:51	1,439:25	453:50	2,129:21	6,449:36	3,886:33	17917:00

・福祉有償運送事業（移送サービス事業）

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを実施しました。

【実施状況】利用登録者数27人 協力ボランティア8人

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出動回数	6回	8回	8回	9回	9回	8回	7回	6回	7回	7回	8回	11回	94回

・福祉（介護）機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	28件	23件	21件	19件	17件	20件	22件	27件	20件	21件	30件	30件	278件

【斡旋】

紙オムツ・防水シート・失禁パンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

■ 介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助を図りました。

日時	事業内容	場所	参加者
4月10日(火)	役員会	ボランティアセンター	6人
5月18日(金)	総会・講演【ミュージック・ケア】	別館2階研修室	22人
7月17日(火)	介護者のつどい【講座 終活について】	別館2階研修室	18人
8月9日(火)	役員会	西部事務所	6人
9月6日(木)	介護者のつどい【茶話会】	西部事務所	15人
10月19日(金)	介護者のつどい【講座 相続について】	別館2階研修室	18人
11月6日(火)	リフレッシュバスツアー【休暇村紀州加太】	和歌山市	26人
11月30日(金)	介護者のつどい【干支の飾り物教室・交流会】	西部事務所	15人
12月20日(木)	役員会	西部事務所	6人
2月28日(木)	介護者のつどい【フラワーアレンジメント講習会】	西部事務所	22人
2月28日(木)	役員会	西部事務所	6人
3月8日(金)	視察研修会 【介護付有料老人ホーム ライフビュー・ 大寅蒲鉾工場・利晶の杜】	島泉・柏原市・堺市	29人

(その他) ・大阪府介護者(家族)の会連絡会総会 6月11日(月)
 ・河南ブロック介護者(家族)の会交流会 1月23日(水)
 ・大阪府介護者(家族)の会活動交流会 2月22日(金)

■ 各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

【社資募集実績】

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	651,500円	西浦地区	1,164,773円
高鷲地区	1,363,870円	丹比地区	246,200円
埴生地区	551,510円	日赤奉仕団扱い	52,500円
羽曳が丘地区	801,070円	大阪支部扱い	1,401,006円
駒ヶ谷地区	331,500円		
合 計			6,563,929円

【事業】・羽曳野市赤十字奉仕団研修 平成30年4月26日（市役所別館 3階会議室）
 ・防災啓発プログラム 4回開催

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【街頭募金活動】：平成30年10月1日台風24号接近のため中止

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法人	学校	街頭	バッジ	実績額
2,940,151円	89,024円	267,835円	56,973円	503,500円	3,857,483円

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	554,550円	丹比地区	209,450円
高鷲地区	794,551円	西浦地区	369,600円
埴生地区	425,250円	駒ヶ谷地区	134,200円
羽曳が丘地区	452,550円		
合 計			2,940,151円

※地区募金会理事会 平成30年8月31日（市長会議室）

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	402,800円	丹比地区	198,350円
高鷲地区	661,915円	西浦地区	247,950円
埴生地区	555,500円	駒ヶ谷地区	118,800円
羽曳が丘地区	368,400円	事務局取扱分	104,057円
合 計			2,657,772円

(民生委員校区别実績額)

校区名	実績額	校区名	実績額
古市校区	576,500円	高鷲南校区	111,000円
古市南校区	141,000円	高鷲校区	235,770円
白鳥校区	273,000円	駒ヶ谷校区	100,000円
埴生南校区	74,664円	高鷲北校区	239,250円
埴生校区	138,500円	丹比校区	337,000円
西浦校区	194,802円	恵我之荘校区	321,500円
西浦東校区	111,500円	主任児童委員	57,000円
羽曳が丘校区	14,000円		
合 計			2,925,486円

※ 配分委員会 平成30年12月5日(市役所別館 3階第2・3会議室)

配分内容

民生児童委員協議会福祉活動費、校区福祉員会推進費、子育てサロン運営費、子ども食堂運営費
児童養護施設お年玉、福祉施設サンタクロース訪問 他

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議 : 平成30年4月26日(市役所別館 3階会議室)

・啓発活動

市広報紙・社協だよりに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内及び大学において献血キャンペーン用のポケットティッシュ及び絆創膏を配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml 採血	400ml 採血
1,695人	1,398人	99人	1,299人

・義援金活動**・義援金の受付**

東日本大震災	平成31年3月末現在	44,900,019円
熊本地震	平成31年3月末現在	3,895,915円
7月豪雨災害	平成31年3月末現在	851,936円
大阪府北部地震	平成31年3月末現在	262,446円
北海道胆振東部地震	平成31年3月末現在	242,071円

(社協受付分 全額 日本赤十字社大阪府支部に送金)

■ 職員研修会**・人権研修**

全職員対象にDVD などによる人権研修会を開催

■ 保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	136	137	138	138	137	139	141	142	138	139	140	141	1,666

※認可定員：120人

保育内容

入園式・進級式・家庭訪問(新入園児)・検便(年1回)・検尿検査(年2回)
 嘱託医による健康診断(年2回) 歯科検診(年1回)・保育参観(年2回)・園外保育(年8回)
 クラス懇談会(年2回)・個人懇談・七夕まつり・お泊り保育・運動会・クリーン活動・保幼交流
 芋掘り・味覚狩り・作品展・消防訓練・交通安全講習会・餅つき大会
 雪山遊び・節分・生活発表会・古市小学校体験入学・お別れバス遠足・お別れ会・修了式・卒園式・食育
 クッキング・ランチルーム・身体測定・避難訓練・お誕生日会(毎月1回)

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	41	43	45	50	19	11	22	22	17	46	44	27	387

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	66	68	69	72	67	55	61	59	50	45	58	66	736

特別教室の実施

- ・ECC 英会話教室
- ・体育指導
- ※ 3歳児より導入

子育て支援事業

- ・育児相談(開園中常時)
- ・園庭開放(年11回)
- ・子育て支援自主事業
(年18回 地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う)
- ・子育てサロン参加(年9回)

地域交流

- ・世代間交流（地域の高齢者を招いて給食会を行う）
- ・夕涼み会（園児、卒園児、地域住民と交流）
- ・敬老の日の集い（園児のおじいちゃんおばあちゃんを招待）
- ・在宅複合施設ステップ訪問（施設の利用者と交流） 10月 2月
- ・介護老人保健施設まほろば訪問（施設の利用者と交流） 11月
- ・古市校区会食会（参加者と交流） 10月
- ・クリスマス会（地域の親子参加）
- ・新年子どもの会（地域の親子参加）
- ・ひなまつり（地域の親子参加）
- ・南大阪ブロック民間保育園大運動会参加（南大阪民間保育園と交流）
- ・南大阪ブロック民間保育園サッカー大会参加（南大阪民間保育園と交流）
- ・園児の祖父農園（いちご狩り、とうもろこし収穫、芋掘り）
- ・中川さんの農園（芋ほり）
- ・古市幼稚園・誉田保育園交流 6月 10月 1月 計3回
- ・誉田中学校職業体験受け入れ 2日間 3人
- ・峰塚中学校職業体験受け入れ 2日間 6人
- ・河原城中学校職業体験受け入れ 2日間 4人
- ・高鷲中学校職業体験受け入れ 2日間 6人
- ・教育実習生受け入れ 6月1人 7月2人 9月1人 1月1人 2月3人 3月1人 計9人
- ・ボランティア体験学習の受け入れ 4月1人 8月1人 9月1人
- ・他施設実習生受け入れ 4月2人

職員研修

園長・園長代理研修

- ・大阪しあわせネットワーク 1人 (9/12)

保育士研修

- ・キャリアアップ0.1.2歳児 1人 (5/25.6/15.7/13.9/21.10/23.11/13.12/11.1/22.2/19.3/12)
- ・幼児教育アドバイザー育成 1人 (5/17.6/7.7/13.8/20.9/12.10/19.11/19.12/13)
- ・子どもと楽しむ音楽遊び 1人 (5/12)
- ・食中毒 1人 (5/25)
- ・HACCPについて 1人 (5/30)
- ・感染症、食中毒予防 1人 (6/12)
- ・キャリアアップ(子育て支援) 1人 (6/21.7/19.9/13.10/4.11/8)
- ・救命救急講習 12人 (6/26)
- ・事故予防 1人 (7/2.7/6)
- ・園におけるアレルギーへの対応 2人 (7/4)
- ・子どもも保育者も育つ保育 1人 (7/25)
- ・就学前における人権教育 1人 (7/3)
- ・食品衛生 1人 (7/13)
- ・栄養士、調理師研修会 1人 (8/3)
- ・発達障害児支援 1人 (8/8)
- ・大阪しあわせネットワーク 1人 (9/12)
- ・保育指針改正と食育 2人 (9/13)
- ・幼小連携と接続 1人 (9/26)
- ・災害対策 2人 (10/17)
- ・大阪しあわせネットワーク 1人 (10/23)

- ・感染症予防 1人 (11/8)
- ・見学取組報告レスキュー事業報告 1人 (11/14)
- ・キャリアパス(中堅) 1人 (11/14. 21. 29)
- ・キャリアアップ 1人 (11/26. 12/11. 18)
- ・保育所保育指針改定の流れとそのポイント 8人 (12/21)
- ・子どもの目線にたった保育講座 1人 (1/18)
- ・虐待、事故、感染症 1人 (1/25)
- ・子どもの目線にたった保育講座 1人 (1/30)
- ・食物アレルギーの基本知識 1人 (3/6)

ベビーハウス社協

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	109	111	113	116	117	120	120	121	121	122	122	122	1,414

※認可定員：120人

保育内容

入園進級式、個人懇談(年1回)、クラス懇談、参観(年2回)、幼児遠足(春・秋)、乳児お散歩遠足、こいのぼり見学(5歳児)、じゃがいも掘り(5歳児)、南、大阪ブロック大運動会参加(5歳児)・七夕まつり、消防訓練、プール活動、お泊まり保育、便・尿・内科検診(年2回)、歯科検診、ぶどう狩り(あおぞら保育園と合同・5歳児)、運動会、さつまいも掘り(幼児)、ハロウィン・クリスマス会、大根抜き(5歳児)、大そうじ、クッキー作り、節分、ひなまつり、ゆめっこの会、お別れ遠足、卒園式、※毎月1回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	34	58	67	71	120	96	154	142	116	169	180	170	1377

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	12	27	34	31	24	31	49	36	38	48	42	37	409

緊急一時保育

7時～22時（日曜日は9時～17時）

月別園児数

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野 市内の 園児数	70	73	98	98	116	121	196	181	209	204	207	260	1,833
他市町 村の園 児数	9	18	17	18	11	22	27	37	43	19	35	26	282

家庭支援推進保育所事業（育児相談・家庭訪問）

配慮を要する入所児童への家庭訪問、育児相談・・・39件

在宅子育て家庭への家庭訪問、育児相談・・・61件

子育て支援事業

- ・園庭開放（ベビっこひろば）（年6回）
- ・ベビーハウスまつり（年1回）（5/27）
- ・子育てサロン（年8回）：恵我ノ荘サロンへの保育士派遣

地域交流

- ・世代間交流（北宮中部公民館にて実施されているお年寄り会食会に年長組が参加し交流）（6/27）
- ・ベビーハウスまつり（園児、卒園児、地域住民と交流）（5/27）
- ・西松庵のお年寄りの方との交流（6/14）
- ・尼丁さん畑（じゃがいもほり（6/14）・さつまいもほり（11/1）・大根の収穫（1/24））
- ・南大阪ブロック民間保育園大運動会参加（南大阪民間保育園と交流）（6/19）
- ・高鷲南中学職業体験学習の受け入れ 3人（2日間）（11/8、11/9）
- ・高鷲中学職業体験学習の受け入れ 6人（2日間）（11/1、11/2）
- ・教育実習生の受け入れ 計10人
 - 関西女子短期大学 保育科 2名 30年 7/26～8/6
 - 大阪芸術短期大学部 保育学科 3名 30年 8/17～8/30
 - 四天王寺大学短期大学部 保育科 1名 30年 8/27～9/8
 - 大阪芸術短期大学部 保育科 2名 31年 2/18～2/28
 - 関西女子短期大学部 保育科 2名 31年 1/28～2/7
- ・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ 39名（12/4）
- ・社協実習生 四天王寺大学人文社会学部受け入れ 1名（6/22）
- ・主任児童委員 研修受け入れ 4名

職員研修

保育士研修

- ・危機管理危機対応研修2名（5/14）・4名（9/12）
- ・感染症食中毒予防対策講習会 1人（6/4）
- ・「プール活動 塩素の取り扱いについて」7名
- ・衛生講習会（11/16）
- ・人権研修DVD研修34名（3/18）
- ・救急蘇生DVDによる研修（全職員）（6/20～6/22）

- ・コミュニティソーシャルワーカー養成研修会(4/26・5/18・5/26)
- ・子どもと楽しむ音楽遊び2名(5/12)
- ・大阪府保育所等の事故防止研修2名(7/3・7/6)
- ・大阪府立西浦支援学校・第1回学校見学会2名(7/10)
- ・災害時における栄養・食生活支援ネットワークに関する研修会(10/17)
- ・大阪府発達障がい児支援の為の保育士・幼稚園教諭研修(8/22・9/11・9/27・11/13)